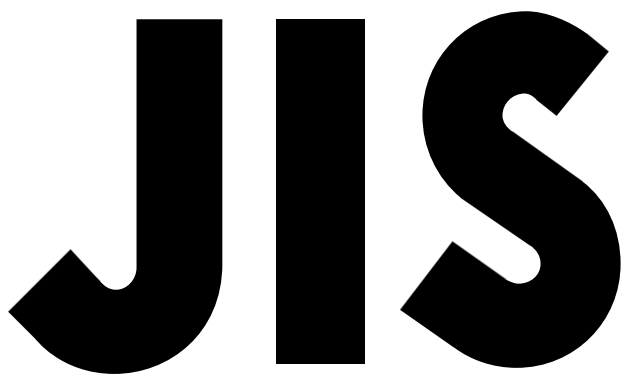




油圧・空気圧用及び
一般用途用金属製管継手－
Ｏリングシールによる
メートルねじポート及び継手端部－
第２部：高圧用（Ｓシリーズ）継手端部－
寸法・設計・試験方法・要求事項

JIS B 2355-2 : 2023

(ISO 6149-2 : 2006)

(JFPA/JSA)

令和５年３月２０日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	渡 田 滋 彦	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	藤 本 浩 志	早稲田大学
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校
	和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 12.8.20 改正：令和 5.3.20

官 報 掲 載 日：令和 5.3.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本フルードパワー工業会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3433-5391)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義	2
4 寸法	3
5 要求事項	3
5.1 最高使用圧力	3
5.2 性能	3
5.3 方向調整形継手端部の座金のはめあい及び平たん度	3
6 O リング	3
7 試験方法	3
8 呼び方	4
9 識別及び表示	4
10 規格適合表示	4
解 説	12

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本フルードパワー工業会（JFPA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS B 2355-2:2000** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS B 2355 規格群（油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手－O リングシールによるメートルねじポート及び継手端部）は、次に示す部で構成する。

JIS B 2355-1 第 1 部：O リングシールポート

JIS B 2355-2 第 2 部：高圧用（S シリーズ）継手端部－寸法・設計・試験方法・要求事項

JIS B 2355-3 第 3 部：中圧用（L シリーズ）継手端部－寸法・設計・試験方法・要求事項

油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手— Oリングシールによるメートルねじポート及び継手 端部—第2部：高圧用（Sシリーズ）継手端部— 寸法・設計・試験方法・要求事項

Connections for hydraulic fluid power and general use—Ports and stud ends
with ISO 261 metric threads and O-ring sealing—Part 2: Dimensions,
design, test methods and requirements for heavy-duty (S series) stud ends

序文

この規格は、2006年に第2版として発行された **ISO 6149-2** を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、メートルねじをもつ高圧用（Sシリーズ）の方向調整形及び固定形の継手端部並びにOリングの寸法、性能上の要求事項及び試験方法について規定する。

最高使用圧力は、方向調整形継手端部は 40 MPa、固定形継手端部は 63 MPa とする。許容される最高使用圧力は、継手端部のサイズ、材料、設計、使用条件、用途などに依存する。

この規格で規定する寸法への適合は、定格性能を保証するものではない。それぞれの製造業者は、部品が性能評価に適合することを保証するために、この規格の規定に従って試験を実施することが望ましい。

注記 1 炭素鋼で作られた継手端部の性能を確認するために、多数の試験が行われてきた。

注記 2 この規格で規定する継手端部及びOリングは、**JIS B 2351-1**、**ISO 8434-3** 及び **ISO 8434-4** に規定される継手、及び **ISO 6149-4** に規定されるプラグに用いられている。ホース継手仕様に関しては、**ISO 12151-4** を参照。

注記 3 油圧応用分野での新しい設計では、**ISO 1179** 規格群、**JIS B 2356-1**、**JIS B 2356-2**、**ISO 9974-3**、**ISO 9974-4**、**JIS B 2358-1**、**ISO 11926-2** 及び **ISO 11926-3** の関連部分に従ったねじポート及び継手端部ではなく、**JIS B 2355-1**、**JIS B 2355-2**、**JIS B 2355-3** 及び **ISO 6149-4** に従ったねじポート及び継手端部を使用することが推奨されている。

注記 4 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 6149-2:2006, Connections for hydraulic fluid power and general use—Ports and stud ends with ISO 261 metric threads and O-ring sealing—Part 2: Dimensions, design, test methods and requirements